「完璧」を触れ込む 最新型喫煙ブース の性能を評価する

Part 1

最新型の 喫煙ブースも やはり効果なし

大和 浩

産業医科大学 産業生態科学研究所教授



会社内に設置された喫煙ブースが、 結果的に社員の健康を害することに なる!!

新型空気清浄機を 導入した企業

粗末なものばかりであった。 室内再循環方式である。これまで、 質を取り除き、背面から排出」する 設計は「フィルターを通して有害物 れる」という触れ込みである。基本 スは、スモークフリーシステムズと 査してきたが、わが国の一流メーカ 何種類もの空気清浄機の使用例を調 る人と吸わない人が同じ部屋にいら のか?」と聞かれた。その喫煙ブー ブースが設置されたが、効果はある ーの製品であっても、その性能はお いう最新型の空気清浄機である。メ -カーによれば「タバコを吸ってい 先日、 知人から「会社に変な喫煙

空気清浄機と 喫煙室の性能の限界

のである。

この粒子が光を乱反射するため、煙 体はタールの細かいミストである。 は粒子とガスの混合物で、粒子の正 化石燃料の燃焼によって発生する煙 タバコを含め、草や木材、そして、

> スも屋外に排気する方式を推奨した 室に排気装置を設置して、粒子もガ ための新ガイドライン」では、喫煙 03年の「職場における喫煙対策の の粒子は素通りする。だから、20 集塵能力が低下するため、ほとんど るが、多く使用されている電 る方式であれば粒子はほぼ除去でき 性能フィルター(HEPA)を用 ス繊維を用いて物理的に濾しとる高 ない。粒子については、微細なガラ 状物質を完全に除去することはでき は目に見えるのである。 (タール) が付着することで急速に 集塵 方式では、フィルターに粒子 酸化炭素や臭いの原因となるガス まず、空気清浄機の特性として、

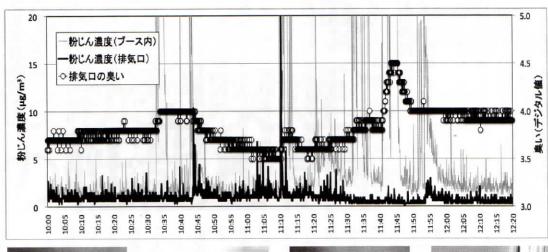
ことはできない。まして、再循環式 の喫煙ブースで受動喫煙が防止でき とから、タバコ煙の漏れを防止する 満した煙が禁煙区域で吐出されるこ コ煙が巻き込まれること、②肺に充 身体の後ろにできる空気の渦にタバ 喫煙室であっても、①退出する人の 強力な排気装置を備えた陰圧式の

> 壁をつけながら調査に乗り込んだ。 るはずがない。私は、眉にしっかり

喫煙ブースの性能評価

粉塵とガスの濃度を測定し、同時に、たまれ、ブース内と背面の排気口で 時に喫煙したときには、明らかに排 リングした結果をグラフに示す(次 排気される空気の臭いを連続モニタ 濃度を比較することで評価される。 ターを通過する前後で粒子とガスの ある。特に、11時40分から6人が同 た、臭いセンサーの測定値も同様で が、粉塵の漏れはゼロではない。 頁の図参照)。 粉塵はそれなりに除去できている 空気清浄機の性能は、そのフィ

明した。 ルムアルデヒドなどであることが判 後日の分析でアセトアルデヒド、ホ た。そして、漏れてきた「何か」は、 私の鼻センサーにも「何か」を感じ タバコの臭いに非常に敏感である。 気口から「何か」が漏れていた。 ちなみに、私は元喫煙者であり、











世界保健機関

W H O

がすでに

喫煙ブースから漏れてくる「何か」の測定風景

Part 2

完全分煙の概念 が正しいのか?

加藤一晴

加藤医院院長/浜名医師会理事/ こどもをタバコから守る会・代表 屋外に行けば吸えるのだから。の%禁煙としよう。喫煙する人は、で証明されたことになる。怪しげなで証明されたことになる。怪しげなで証明されたことになる。怪しげないがはがからまった。

結論

減に向かう最中に、喫煙擁護の装置

喫煙率12・2%

2012年春、厚生労働省は日本人喫煙率は19・5%と報告 ①した。 これは、嗜好品と言われるタバコが、これは、嗜好品と言われるタバコが、これは、嗜好品と言われるタバコが、とを、広く国民が知ったからだろう。とを、広く国民が知ったからだろう。 この数値は20歳代が手を染めなくなったのと、60歳代以上が止めたからなのである。彼らには子供たちもいるし、家庭内での受動喫煙も看過でるし、家庭内での受動喫煙も看過でるし、家庭内での受動喫煙も看過でるし、家庭内での受動喫煙も看過でるし、家庭内での受動喫煙も看過で

職場における喫煙規制のはずだっ 企業も社員の喫煙対策に頭を痛めて 企業も社員の喫煙対策に頭を痛めて いる。この市場を狙って、幾つかの いイテク装置が開発されたが、実は 政府は2022年までの喫煙率を 政府は2022年までの喫煙率を 市場導入した分煙装置の中には、 電境意識の高い欧州で生まれたもの 環境意識の高い欧州で生まれたもの

> 喫煙者に対して、愛情も優しさも思 喫煙問題と対峙する我々医療団体と で言えば非喫煙者には朗報だろう いやりも無いからだ。 しては、看過できるものではない が、喫煙者には何のメリットもない 神とは相反するものなのだ。健康面 TC(たばこ規制枠組み条約) 包括的喫煙規制を推し進めたいFC 喫煙をさせない」であって、果敢に 保護」とは相容れない理念である。 8章(4)の「タバコ煙の暴露からの が推進するたばこ規制枠組み条約第 か。これは、WHO(世界保健機関 の開発がなされていいものだろう 外部に漏れがない」は即ち「受動

2番目のフィルター

は、有害物質が付着している。地に変化する。これを喫煙者は、ふりっと吐き出すのである。これら一性に変化する。これを喫煙者は、ふ性に変化する。これを喫煙者は、ふ性の行為で吸い込んだフィルターに連の行為で吸い込んだフィルターが付いている。強制的に吸い込

より明らかである。 生頻度に差がないことは、火を見る る。この分煙装置を利用した喫煙者 要望書(⑥を提出し、連動するよう が理解できるし、無煙環境に設置さ ば、この装置が完全無欠でないこと 吐き出される(⑤)。この論理で言え 0秒 (=40呼吸) までは有害物質が しかし種々の検証より、喫煙後20 様々な分煙装置が開発されてきた。 が定めた基準値をクリアするために 2番目のフィルターなのだが、人間 に社会が脱タバコに動き始めてい れれば被害は何処までも拡がる。 2008年3月、日本学術会議が 冷静に考えれば、人体そのものが 利用しない喫煙者のタバコ病発

疑問を感じるコンセプト

りの人が止められなくて朽ち果てるためのではなく、耐えられるか耐えらものではなく、耐えられるか耐えらものではなく、耐えられるか耐えらな、タバコ嫌いの非喫煙者と記載してある。タバコは好きか嫌いで語るないが止められなくて朽ち果てる

運である。言うなれば現役喫煙者の ほとんどは近未来の犠牲者なのだ。 のだが、疾患発症前に気づく人は幸

のフレーズでもあることを忘れては ない人の良好な関係は、タバコ会社 いけない。 しいのかも知れない。吸う人と吸わ 者家族は、一刻も早く立ち去って欲 できることは少なく、同装置の利用 単なるタバコ嫌いの非喫煙者が解決 煙者への愛情や思いやりがなけれ 抱強く待つことも大切だ。つまり喫 実を伝え禁煙の機会が訪れるまで辛 喫煙者を忌み嫌うのではなく、真 根本的な解決策は得られない。

参考文献

①厚生労働省の国民健康・栄養調査 2012年1月31日

(3)日本医事新報 @http://www.health-net.or.jp/ tobacco/product/pd100000.html p30~31今こそ政治家は喫煙対策 (第4598号

時代はタバコフリー

5受動喫煙防止対策と禁煙支援 ttp://www.mhlw.go.jp/topics/ tobacco/kin-en-sien/izonshou/ H

> 業医科大学産業生態科学研究所教 本公衆衛生協会誌 2012年産

(6)2008年3月 日本学術会議 「脱タバコ社会の実現に向けて」

次の世代は

独立行政法人国立がん研究センターたばこ政策 「喫煙と健康」WHO指定研究協力 センター長

これは世界中に蔓延するタバコによ る健康、 制枠組条約(ごをご存じだろうか。 世界保健機関(WHO) 社会、 経済、環境に及ぼさ たばこ規

条約である。 世代を守るために世界中の国々が合 れる破壊的な影響から、現世代と次 意して、2005年に発効した国際

やく、地球規模での需要と供給を削 明されてから半世紀以上経ってよう らしめるほどの製品であることが解 の健康を著しく損ない、時に死に至 タバコを吸わない人(胎児を含む) である。 減する総合的な戦略が策定されたの タバコが喫煙者本人のみならず、

までにタバコを吸い始めると、平均 失われ、受動喫煙によっては680 60万人が受動喫煙) 人が家庭内)が亡くなっている。 0人 (3600人が職場、3200 し、日本だけで年間13万人の人命が 最新の日本の研究によると、20歳 世界中では年間600万人(うち がタバコで死亡

と大きく舵が切られている。 の時代から、タバコフリーな社会へ った。これらを前提に、タバコ乱用 定説4年を大きく上廻ることが分か することが分かり②、これまでの 余命が男性で10年、女性で8年短縮 のリスクに対して実に寛容であり、 る情報戦略により、喫煙と受動喫煙

受動喫煙は他者危害

くなった」である。 に並んで多いのが、「吸う場所がな 分の健康」「家族の健康」「タバコ代」 る、という二律背反の状況に陥って 思いながら、禁煙のきっかけを探す いる。禁煙したい理由の中で、「自 方で、吸い続ける理由も探してい 多くの喫煙者は実はやめたい、と

者や従業員の健康を損なうことにつ ルで禁止される次元の問題である。 為は、マナーではなくモラルやルー 自由な社会であっても、他者危害行 いて無頓着な喫煙者も多い。いかに 自らのタバコの煙が同僚や他の利用 ほど注意が払われないのも現実で、 し、子どもから親への働きかけも強 を機に禁煙に踏み切る場合が多い なうのであれば、結婚や妊娠・出産 力だ。ところが、他人の健康にはさ 日本社会は長年のタバコ産業によ 受動喫煙によって家族の健康を損

> 器産業の台頭も著しく、概念として バコ産業に加えて、いわゆる分煙機 り込まれてきた。しかも最近は、タ などに全国的な導入を図っている。 として可視化して、公共施設や職場 (アドバイザーやコンサルタント の分煙を具体的な設備やマンパワー のための解決策であると繰り返し刷 「分煙」が喫煙者と非喫煙者の共存

分煙が不合理な理由

喫煙者の禁煙機会を奪い、さらに、 ければ、喫煙しないで済んだはずの 他者危害が発生する。喫煙場所がな その空間の利用者や従業員に対して 会的に認知させてしまう。 は、喫煙という自傷・他傷行為を社 公共空間における喫煙空間の出現 の受動喫煙によりリスクが増大し し、喫煙区域では喫煙者自らが他者 は技術的にリスクを減弱できな 害を及ぼさないレベルまで分煙設備 しかし、タバコ煙の発癌リスクに 「閾値がない」ことから、他者危

> るための様々な取り組みについて、 がとられるべきであり、公共空間で というダブルメッセージ(相反した くべきであろう。 て、次の世代に対してはタバコのな コについてはリスクに見合った対策 因の相互認識)の妨げとなる。タバ クコミュニケーション(マイナス要 情報)を提供することになり、リス ほど、ならばなぜ禁止されないのか、 成熟した社会の合意形成を求めてい い社会、タバコフリー社会を準備す はタバコの使用禁止を第一歩とし

参考文献

(1)たばこの規制に関する世界保健機

関枠組条約(略称 たばこ規制枠

Mimpact of smoking on mortality October 2012) study. BMJ 2012;345:e7093 doi: smokers: a prospective cohort and life expectancy in Japanese http://www.mofa.go.jp/mofaj/ga iko/treaty/treaty159_17.html 10.1136/bmj.e7093 (Published 25

喫煙や受動喫煙の害を説けば説く